

# みんなのた場

## サークル仲間

### 国際サークル友好21 ⑩ 楽しく日本語を学習 暮らしやすさ手助け

国際サークル友好21

石巻地方在住の外国人を支援する任意団体として平成11年に発足。日本語学習の手助け、交流の場を設けるなど、外国籍市民をサポートしています。活動の柱は「楽しい日本語教室」。毎週月曜午前9時～12時、石巻中央公民館で12カ国の24人が学んでいます。市内の企業で働くベトナム人技能実習生21人に対しては、市総合福祉会館みなど荘で毎月2回指導しています。

日本語を教えるだけでなく、花見や芋煮会などを通じ、国籍の枠を超えてコミュニケーションを深めてもらっています。加えて石巻での生活が安全で快適であるために必要な生活マニユアル講座、防災研修会も行うほか、外国人児童生徒の学習支援にも取り組んでいます。事務局長の清水孝夫さんは「定住している人も短期滞在者も同じ市民として、支えることが大切」と話して

ます。清水さんをはじめ指導するボランティアスタッフは教員経験者や主婦などさまざま。日本語学習はマンツーマンで丁寧に行い、間に挟むティータイムでは談笑の輪が広がります。2年前から通うバンングラデシユ人の主婦モスト・シャルミンさん(37)は「石巻はとてもいい街。日本語でもっと会話ができるようになりたい」と意欲を見せています。清水さんは「異国の地で暮らすというのは孤独で、不安になるものです。石巻の生活が楽しく、充実したものになってほしいですし、サポートする私たちも多文化共生社会を互につくっていくという意識を大事にしています」と話してくれました。



日本人スタッフが個人指導で行う日本語の授業



ティータイムは笑顔がいっぱいで歓談

## キラッとパチリ

### 故郷に医療で貢献

平成28年9月の移転開院当初から整形外科医として働いています。高齢化が進む中、整形外科の果たす役割はますます重要になっており、治療した患者さんが元気に日常生活に戻っていただけるよう日々努めています。いわき市立総合磐城共



石巻市立病院医師 おおもり やすし 大森 康司 さん 43歳

立病院に勤めていたが、石巻市立病院再建の話聞き、今まで学んだ技術を故郷の石巻に還元したいと思い、希望して着任しました。医師となつて19年目、患者さんと家族の声に耳を傾け、より良い医療ができるようにさらに心掛けます。



### 《石巻産オリーブ栽培実験中》

平成26年から牡鹿、雄勝、北上、河北でオリーブの栽培実験を行っています。「北限のオリーブ」の名のとおり、石巻はオリーブ栽培の北限地です。寒い冬を越えても生育は順調で、新芽や花芽が確認できています。今年も1,150本の植栽をして北上には1,500本のオリーブ畑が完成します。幸せを呼ぶハートのオリーブの葉っぱもどこかにあるかもしれません。 農林課(内線3553)

## 石巻市立桜坂高等学校 桜坂だより 第1号

### 期日前投票の立会人になって

みなさん初めまして。今月から新コーナーとして隔月で桜坂高校生による桜坂だよりをお届けします。このコーナーでは、私たちが市について感じていることや、桜坂高校の取り組みなどをお伝えしたいと思います。今月は、選挙についてお話をしたいと思います。



平成28年から選挙権年齢が18歳以上になり、私たちの中にも、高校生でありながら有権者となって投票をする権利、政治に参加する権利を持つ生徒がいます。授業では、有権者になることの意義、選挙はどのように行われているか、政治の仕組みなどを勉強しています。

今回の市議会議員選挙でも桜坂高校の生徒が期日前投票の立会人をしました。これは、実際の選挙の様子を体験しながら学ぶことができる、とても重要な機会となりました。

立会人の生徒たちは、座ったままだったので少しつらかったけれど、選挙の流れや仕組みを知ることができた、また高齢者や車いすの方をサポートして、投票しやすいように配慮していることなどを発見でき、とても勉強になったといった感想や、投票に来る若い世代の人が少ないのが気になったこと、これからの市や日本のためにも若い人が投票しないといけないと感じたということをお話していました。また、有権者としての自覚をもって積極的に選挙に参加し、もっと市のことを考え責任を持って投票していかなければならないということも感じていました。

今回の取材をとおして、私たちが投票所へ行って候補者の名前を書くことや、有権者一人一人が投票をするということは市の発展や私たちの未来へつながることなのだと感じました。

### 選挙管理委員会からコメント

桜坂高校の皆さん、期日前投票では立会人をお引き受けくださりましてありがとうございました。選挙権年齢が引き下げられたのは、これからを担う若い世代の意見も行政に反映させたいという目的があるので、「投票が私たちの未来につながる」と感じてくれたのがうれしいです！

# 4/30 雄勝 みこし渡御 海で安全祈願

大須地区の八幡神社例大祭



大須地区の八幡神社で4月30日、春季例大祭があり、みこし渡御や雄勝法印神楽の奉納が行われました。みこしを担いだ男衆約20人が「ヨーサイ!」「チョーサイ!」の掛け声とともに地区を巡り、大須漁港で海に入りました。掛け声は「洋を砕く」「潮を砕く」の意味で、海上安全を祈願します。みこしが海に入る祭りは県内では珍しく、地元出身の若者やボランティアが多数駆け付けました。

# Topic of town まちの話題



# 6/9 石巻 出会いの地・渡波で結婚式

サン・ファンパーク

サン・ファンパークで6月9日、1996年の開設以来初となる結婚式がありました。挙式したのは、中央二丁目料理店を営む今村正輝さん(37)と由紀さん(30)夫妻。千葉県出身の正輝さんは震災直後からボランティアとして渡波地区で活動、同地区出身の由紀さんと出会いました。石巻が好きで移住したという正輝さんは「支えてくれた仲間感謝したい」と笑顔でした。



# 5/18 河北 広々草原で和牛すくすく

上品山牧場で放牧始まる

市営河北上品山牧場で5月18日、牛の放牧が始まりました。30㍊の牧草地に移されたのは、市内畜産農家11戸の繁殖用黒毛和種の雌40頭。体重測定などの検査を終えた後、広大な牧場に移されました。放牧は、預託農家の経費や労力の削減と牛の健康増進、ストレス解消による受胎率の向上が目的です。牛たちは10月31日まで大自然の中で育ちます。



# 5/15 桃生 土と会話、個性生きる作品に

陶芸講座

60歳以上の市民を対象とした市生きがいと創造事業の一つ、陶芸講座が5月15日に開講しました。桃生地区の農業体験実習館で、市内在住の陶芸家の山本雅子さんを講師に、秋までに14回に分け、じっくりと学びます。受講生からは「土と向き合うと無心になります」との感想も。11月の桃生地区文化祭には、それぞれの個性が生きた作品が展示されます。



# 5/12 河南 内モンゴルの歌や踊り熱演

子どもがつなぐ平和コンサート

石巻内モンゴル友好協会主催の「内モンゴルと石巻・子どもたちがつなぐ平和コンサート」が5月12日、遊楽館で開かれました。須江小学校の姉妹校で中国内モンゴル自治区の鄂温克旗第一実験小学校の児童芸術団や、友好協会理事で仙台市在住の民族歌手イリナさんらが出演。華やかな民族衣装でのダンス、歌、演奏などバラエティーに富んだステージで観客を魅了しました。



# 5/28 牡鹿 鮎川に自然体験活動拠点

来秋開所に向けフォーラム

環境省は三陸復興国立公園の新たな自然体験活動拠点として、牡鹿地区に「鮎川浜ビジターセンター」を2019年秋にオープンさせます。5月28日、鮎川浜の清優館でトークフォーラムを開催。牡鹿半島や金華山の自然、動植物の展示、エコツーリズムに対応した自然観察体験プログラムの展開、学術研究者の成果発表の場など最先端の施設を目指して、活発な意見を交わしました。



# 5/13 北上 「火の用心」の備え再確認

防火クラブ総会・研修会

北上防火クラブの平成30年度総会・研修会が5月13日、追分温泉会議室で開かれました。総会後は河北消防署北上出張所の職員を講師に、ビデオで最新の防火知識を学んだほか、前年度に市内で発生した火災を例に意見交換などをしました。会員からは「住宅用火災報知器の必要性や、火災発生時の冷静な通報の仕方などを住民に周知していきたい」などの声がありました。

